



★2 幅広い統合医療の研究会を開催

「新老人の会」 徳島 板東 浩/吉岡明代

徳島「新老人の会」では、従来いろいろな研究会も行ってきています。令和元年10月12日（土）に、JR徳島駅近くのグランドパレス徳島で、幅広い統合医療の研究会が開催されました。これは「新老人の会」と日本統合医療学会四国支部とが協調して行われたものです。

2019  
日本統合医療学会・四国支部研究会

10月12日(土)  
PM 5:00~

グランドパレス徳島  
徳島市竹島本町西1-62-1  
TEL 088-626-1111  
HP: www.gphotel.jp

内容

- 1) 教員講演-1 板東 浩先生 (内科医) 統合医療における最新の動向
- 2) 教員講演-2 吉岡明代先生 (認定音楽療法士) 音楽療法における多職種との連携
- 3) 特別講演および一般講演 (予定)

研究会：演題発表は会員から自由に行います。当日、Windowsのコンピュータとプロジェクターを用意します。USBに入れたデータや、各個人のコンピュータ、配布資料など自由にお持ちください。必要時、下記のメールまでご連絡ください。後日、発表内容は四国支部の会報に掲載いたします。

懇親会：研究会後、自由交流を深めるため懇親会を行います。皆様の様々な活動や、統合医療についての現状、今後の方向性など語り合い、交流を深める有意義な機会です。ぜひ、ご参加ください。

会費：10,000円(研究会費、食事費、印刷費用、郵送料等含む)

ご参加：研究会へのご参加やご発表については、9月末までに下記にお送りください。

連絡先：E-mail: pianomed@bronze.ocn.ne.jp (板東)  
FAX 088-603-1030 (板東)  
TEL 080-2999-1534 (吉岡、板東)



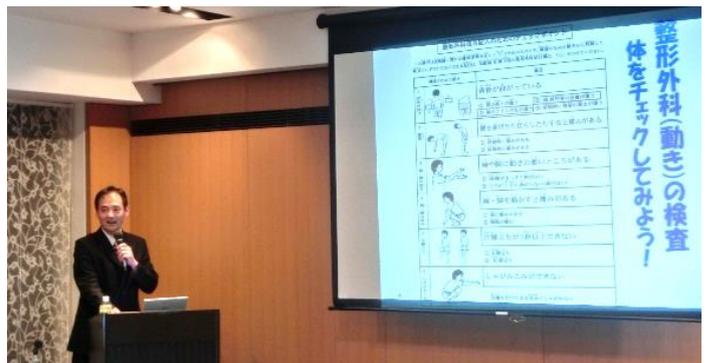
学術講演会が午後5時から開始され、パワーポイントや資料の活用などでバラエティに富む魅力溢れる発表がありました。

その中で、高知「新老人の会」の

内田泰史先生は、ご専門領域の現地診療に関連して、「脳ドック健診について」お話をされました。

また、(一社)全日本ピアノ指導者協会の吉岡明代先生は、日野原重明先生が多大な貢献をされたわが国の音楽療法に関する経緯について紹介しました。2001年3月下旬、吉岡氏と日本バイオミュージック学会四国支部長の板東が、厚生労働省の梶屋敬悟副大臣に面会でき、音楽療法士の国家資格化に関する20分のプレゼンを行いました。本会議が設定されたため、同時刻に隣接した部屋では、日野原重明先生と篠田知璋先生が坂口力厚生労働省大臣に必要な陳情を行う会議も開催されました。その2週間後、産経新聞に「議員立法で音楽療法士の国家資格化へ」との記事が出たという経緯があった。

マスターズ陸上の実践と研究中の村上充先生は「足半 (あしなか)」という伝統的な装着器具を紹介されました。これは歴史的にも戦場で使ったり、飛脚が使ったりしていたものです。先生自身が制作した足半を出席者全員に配布下さいました。太めのビニールの紐を用いて一足20分程度で慣れれば制作できるという。通常の靴とは異なり、足先に無駄な力を込めないように歩き走ることができるのが利点です。すでに、マスターズ陸上の多くの選手が試みており、今後広がる可能性がみられます。



最近注目されている身体施術の一つとして、カイロプラクティックがあります。その第一人者である山崎善秀先生は、しばしば高齢者施設や小学校などで、姿勢の重要性やストレッチの方法などを講演されています。そのわかりやすいプレゼンには定評がある。このたびは、若年者を対象者とした内容として、大切な姿勢を育てる「姿勢育」について話されました。

医療業務に関わる林陽介氏は、印象深いプレゼンとして、健康を担う医薬品、産学官民一体で構築する地域包括ケアの連携強化システム、高齢者の年金等の諸問題、大好きなプロ野球の詳細な年間データ、広島市民球場にある看板で、全国の小児科有志の募金によるメッセージ広告「ワクチン打って麻しん・風しん完封！」などについて魅力あふれるプレゼンで楽しませていただきました。

学術講演会後には懇親会が行われました。乾杯の音頭と挨拶は、高知「新老人の会」および日本統合医療学会高知県支部、「新老人の会」四国連合代表の内田泰史先生が担当されました。



岡山から参加された小島敏弘先生は民族楽器のディジュリドゥを実際に持参され、実際に演奏下さいました。本楽器あるいは長いパイプに息を吹き込む

と、ビョーンと表現されるような面白い音が発生します。このように、大きく深く呼吸を続けていくことが健康法にもつながっていきます。良い息は良い生き方に繋がりますね。今回は楽しく充実した印象深い大会となりました。



### ★3 レオマリゾートへのリフレッシュ旅行

「新老人の会」香川 大原 昌樹/松木香代子

「新老人の会」香川では、いままでピクニックなどを含めたいろいろな企画について季節を考えながら、行ってまいりました。そして、各活動について、医学の学会や研究会、健康講座などと有機的な協調を活用しながら、継続してきております。

令和が始まって最初の冬の季節、「新老人の会」高松および「認知症の人と家族の会」によるリフレッシュ旅行が、12月5日に開催されました。訪問した場所は、香川県にある有名なリゾート施設として知られている「レオマリゾート内のホテルレオマの森」です。このたびは新老人の会会員を含めて16名が参加しました。

最初に、参加した人々が一緒に意見交換を楽しく歓談する時間を1時間ほど設けました。引き続いて、心身ともにリフレッシュできる当施設の温泉に入りました。その後、おいしい食事に舌鼓をうちながら談笑し、やや寒い季節ながら、心がぼかぼかと温まる楽しい時間を過ごしました。



#### ★4 愛媛「新老人の会」でクリスマスバザールを開催

「新老人の会」 愛媛 貞本和彦/神山貴行

このたび、愛媛「新老人の会」の皆さま、貞本病院の患者さま、及び近隣地域の方々にお越しいただき、令和元年12月21日（土）、5回目のクリスマスバザールを開催致しました。まず、ストリートオルガン演奏では演奏曲①「ジングルベル」②「オー・ソレ・ミオ」（ナポリ民謡）③「アメジシング・グレイス」（賛美歌）が披露されました。ストリートオルガンは、あらかじめ用意された旋律を奏でることが出来る自動演奏楽器です。

次に、松原一郎先生が監修された「さだもと体操」みんなで行いました。これは、フレイルの予防に役立ちます。フレイルとは、「年齢を重ねたことで生じやすい衰え」、「虚弱状態」のことをいいます。この体操を継続して行うことで、筋力の低下や認知機能の低下など、フレイルの状態にならないように予防していきましょう！

引き続き、コーラス隊の混声合唱「コントレイルズ」によるコンサートも開催されました。煌びやかな音色を発するハンドベルによって、「きらきら星」、「きよしこの夜」、「ひいらぎかざろう」などが演奏されました。また、コーラスの合唱では「365日の紙飛行機」、「パプリカ」、で盛り上がりました。

最後は、日野原重明先生が大好きだった「ふるさと」をみんなで合唱しました。終わりには、愛媛「新老人の会」世話人である本田俊雄先生が閉会挨拶され、ご出席の皆さまの益々の発展を祈念しつつ、万歳三唱により無事幕を閉じました。

また、コンサートと共に毎年行われているのが、近隣の方々のご協力によりバザールです。今回も障害者多機能型事業所「いろえんぴつ」のマドレーヌとクッキーを販売させていただきました！



また、農作物販売として、今年も世話人の寺尾光司様より新鮮な野菜を提供していただきました！今年もたくさんの方にご協力いただき、数多くのバザー品をご用意させていただくことができました。

なお、例年、多くの方々に好評を博しているのが、石窯ピザの実演販売です。今年も久万高原町産の自家製小麦や野菜を使って石窯ピザを販売する「小麦屋さん」に参加していただきました。

大洲産のとれたて野菜です

(\*^-^\*)



## ★5 毎月集まる懇談会が継続中

「新老人の会」徳島 板東 浩

「新老人の会」徳島支部では、会員の親交を深めるために、毎月第1水曜日の午後6時～8時に「一水会」を開催して参りました。全国の支部をみても、毎月継続して懇親会を開催している支部は他にはみられないと聞いております。

この活動に長年貢献してくださったのは、世話人の一人である木本美代子様でしたが、お店の経営を終えることになったのです。そこで令和元年5月、お店最後の日に感謝のパーティを皆で行い、その後は、おおむねJR徳島駅周辺において、いろいろな場所で企画し、試みてまいりましたが、ホテル「千秋閣」でいろいろとご配慮をいただき、毎月第1水曜日の午後6時～8時に「一水会」の開催を継続してきております。



「新老人の会」の会員の方で、毎月第1水曜日に、ぜひともご連絡をいただきますようお願いいたします。一緒に楽しく盛り上がりましょう。

(連絡先 板東 090-3187-2485)。

